

○ 過去データを用いた欠測値補完 方法の検討

- これまでの研究会での議論

- ① 欠測値補完において過去データを利用することは、一定の有効性が認められたこと。
- ② 過去データを利用する範囲については、引き続き検討すること。

・欠測値補完の方法

① 法人企業統計四半期別調査を用いて検証

② 過去データを用いる順序

⇒ 前回までの議論から、利用する過去データは、季節性を考慮して、前年同期(4)を第一順位と設定。

a.前年同期(4)⇒前々年同期(8)⇒前期(1)

b.前年同期(4)⇒前々年同期(8)⇒前期(1)⇒前々期(2)
⇒前々々期(3)

c.前年同期(4)⇒前期(1)

d.前年同期(4)⇒前期(1)⇒前々期(2)⇒前々々期(3)

※()内は当期から遡った期間数。

● 過去データを用いた法人の件数（平成31年4-6月期）

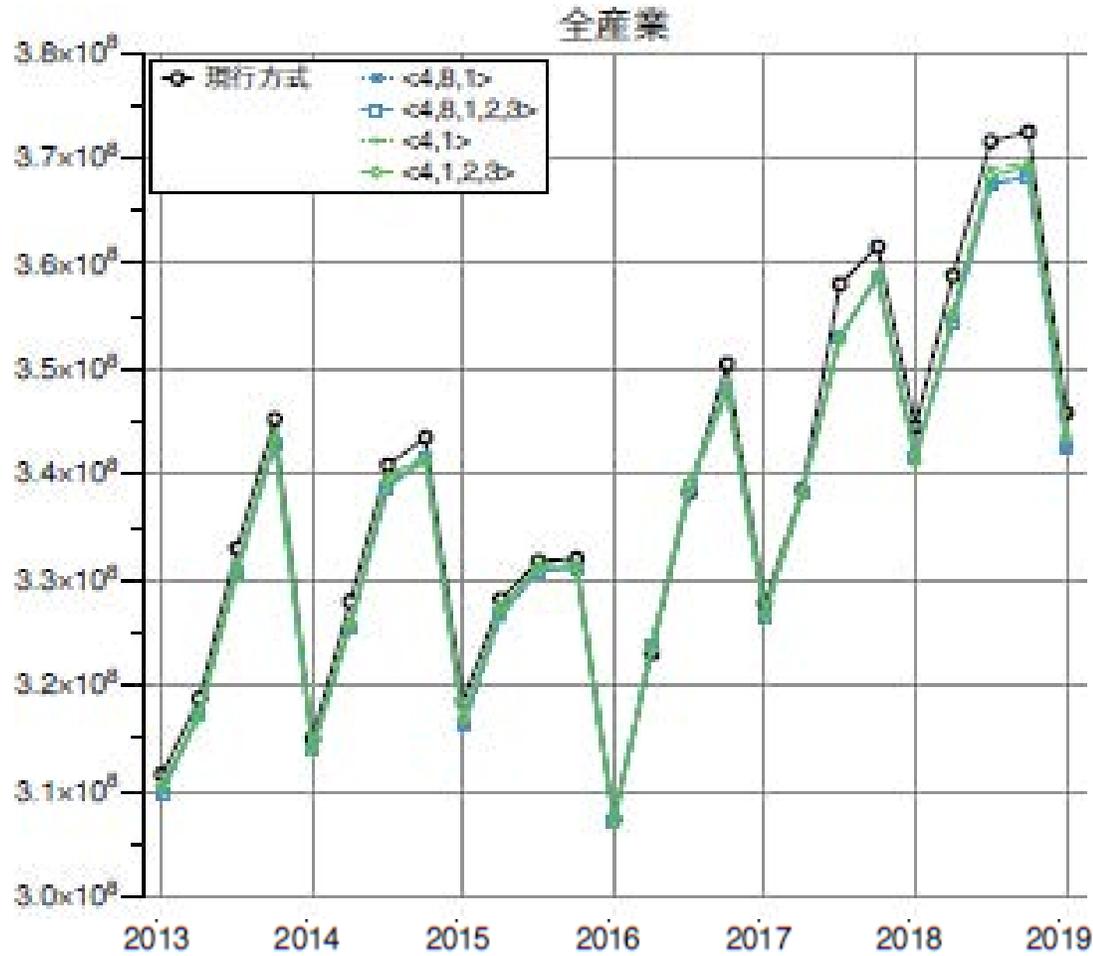
前年同期(4)を第一順位と設定した場合

現行方式	a.4、8、1		b.4、8、1、2、3		c.4、1		d.4、1、2、3	
853	前年同期	260	前年同期	260	前年同期	260	前年同期	260
	前々年同期	90	前々年同期	90	前期	19	前期	19
	前期	17	前期	17	現行方式	567	前々期	20
	現行方式	486	前々期	10			前々々期	10
			前々々期	2			現行方式	537
			現行方式	474				

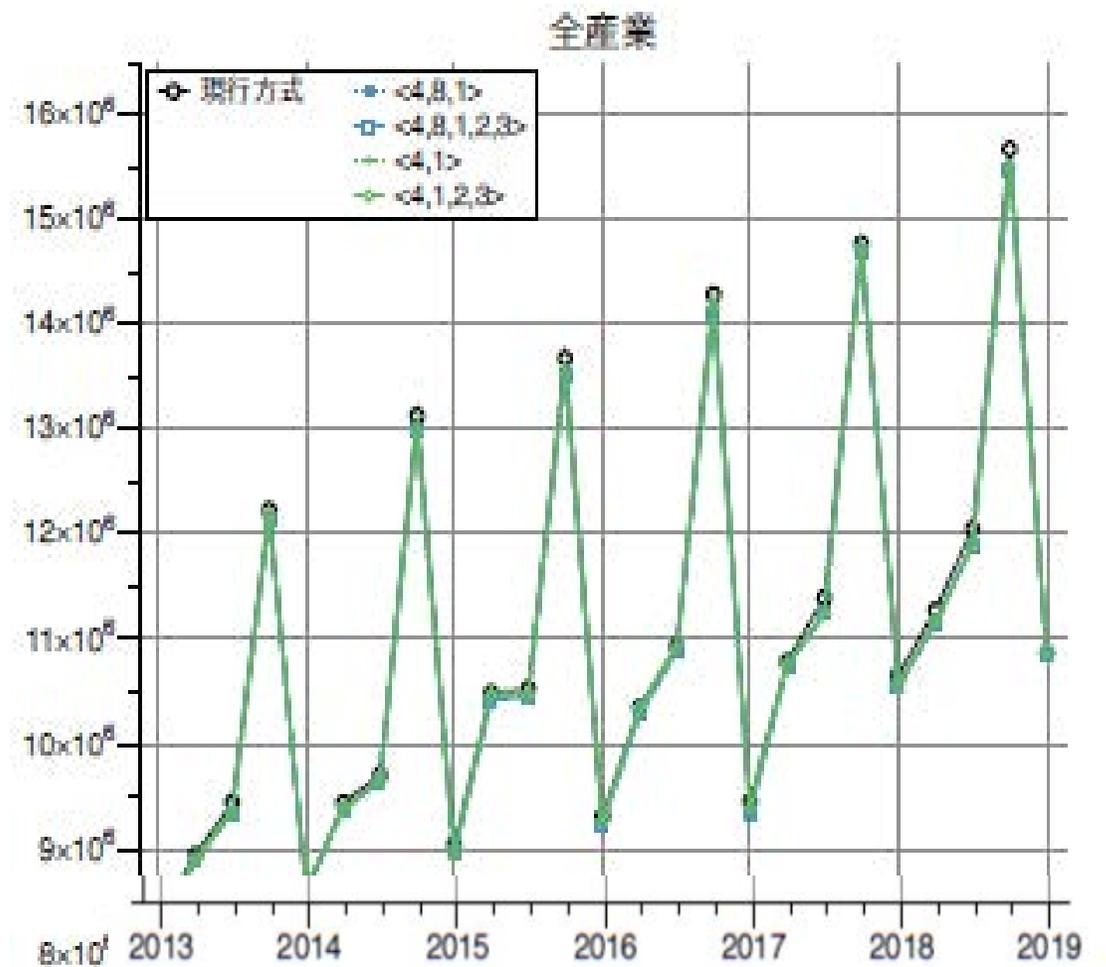
(注) 金融業、保険業を除く全産業(資本金5億円以上)

- 現行方式と過去データを利用した推計値との比較

○売上高グラフ



○設備投資グラフ

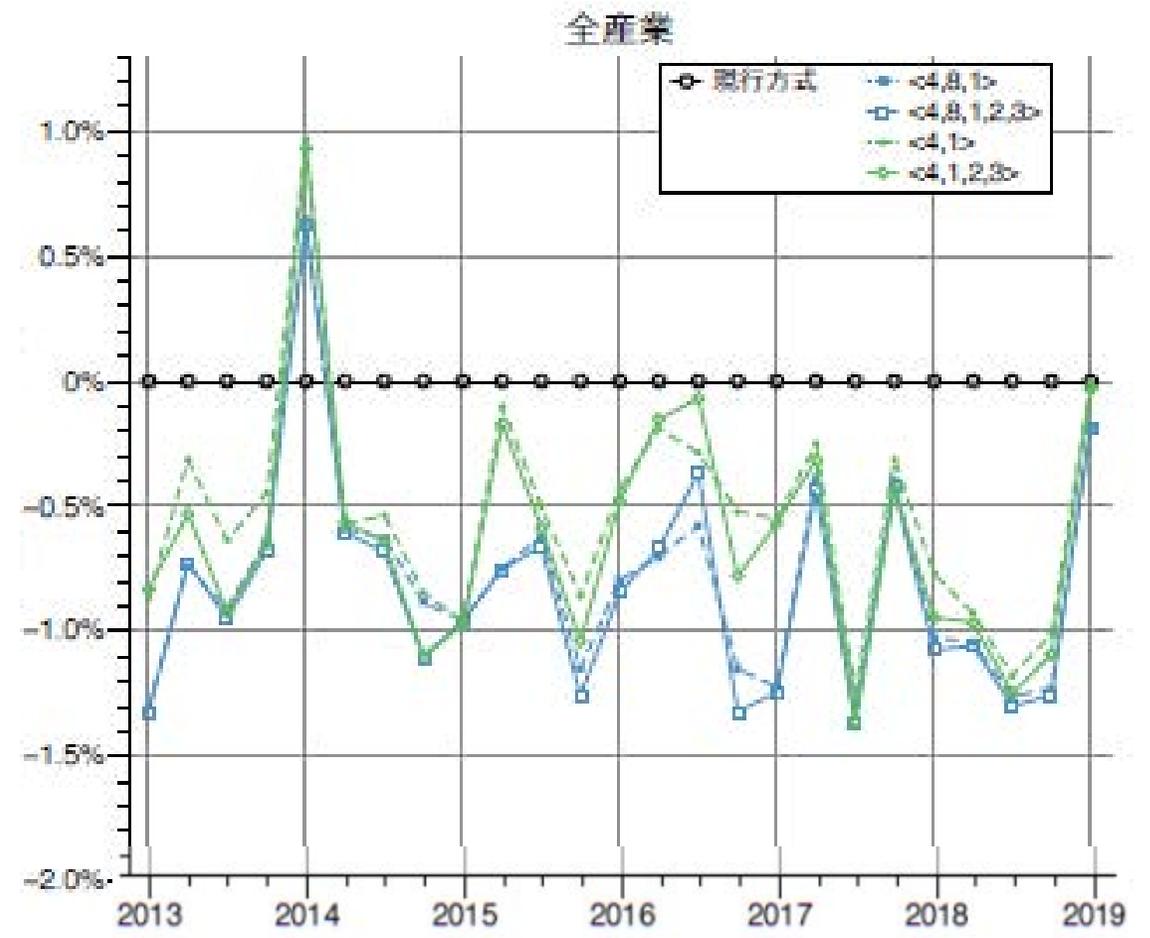
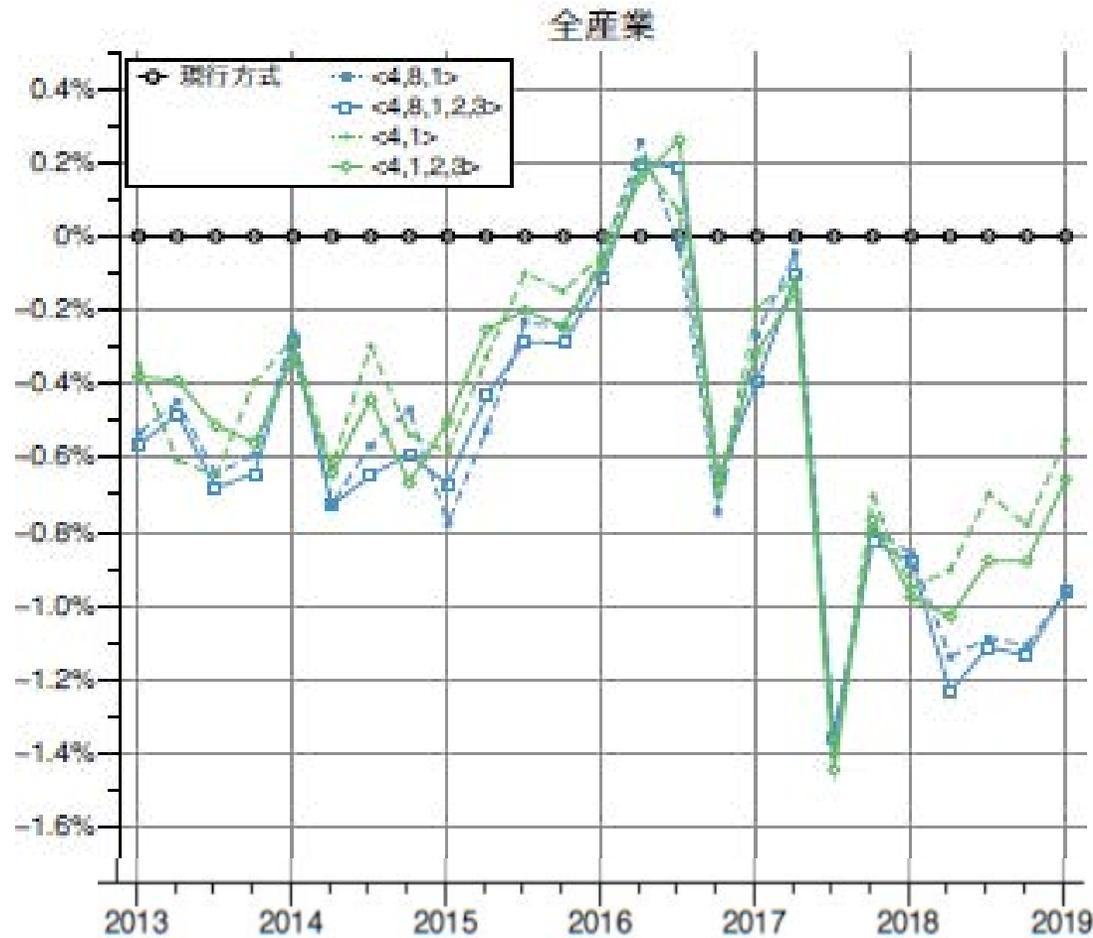


(注) 金融業、保険業を除く全規模・全産業

- 現行方式に対する過去データを利用した推計値の相対差の比較

- 売上高グラフ

- 設備投資グラフ

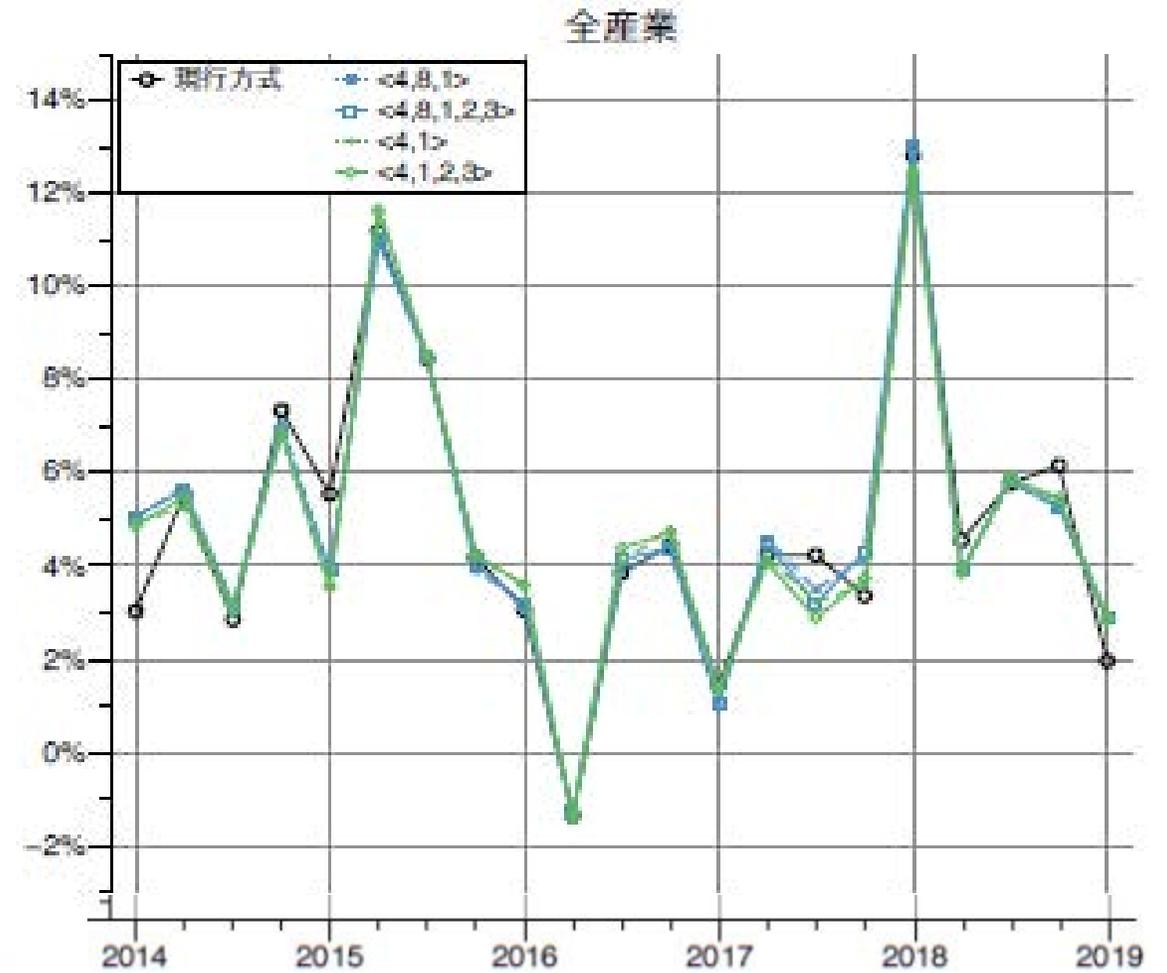
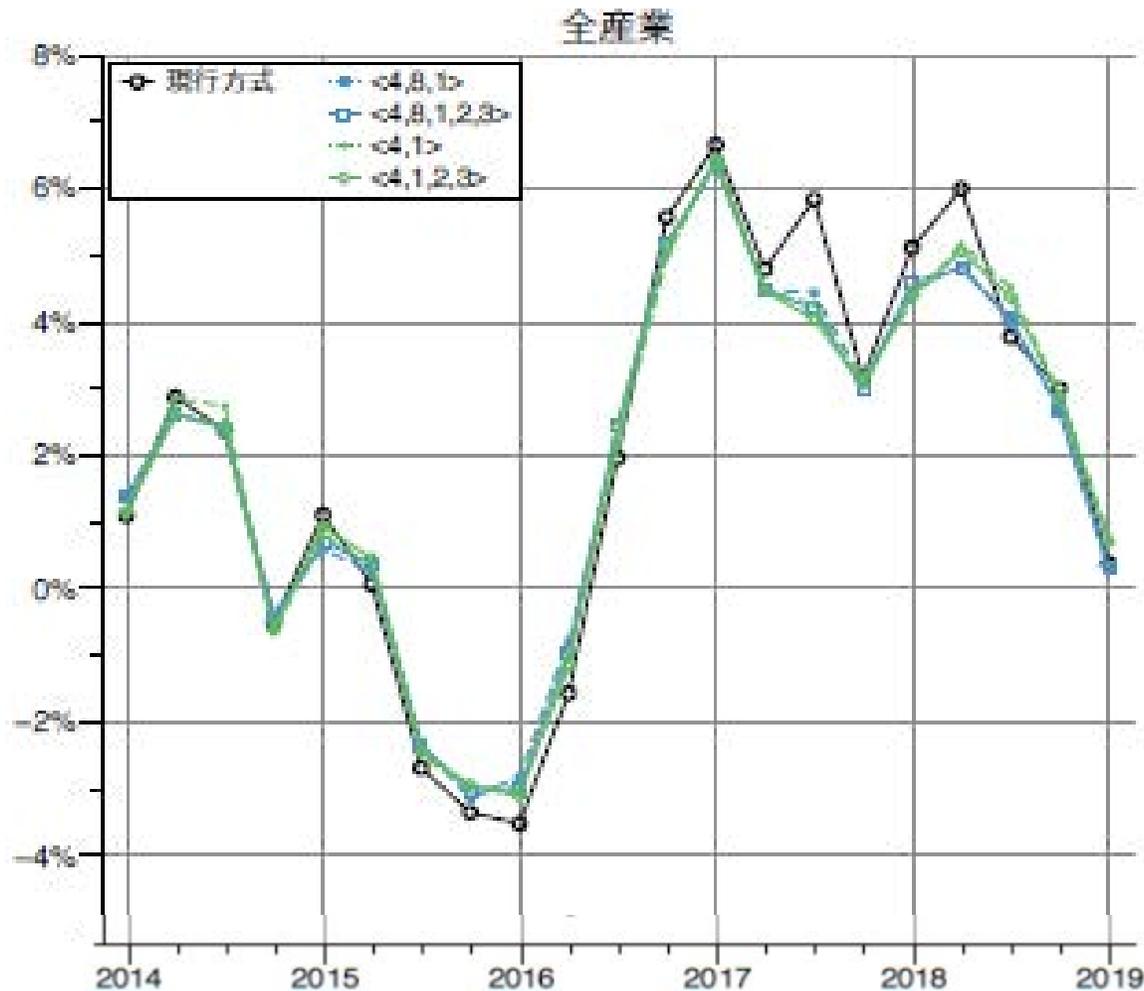


(注) 金融業、保険業を除く全規模・全産業

● 現行方式と過去データを利用した推計値の伸び率(前年比)比較

○ 売上高グラフ

○ 設備投資グラフ

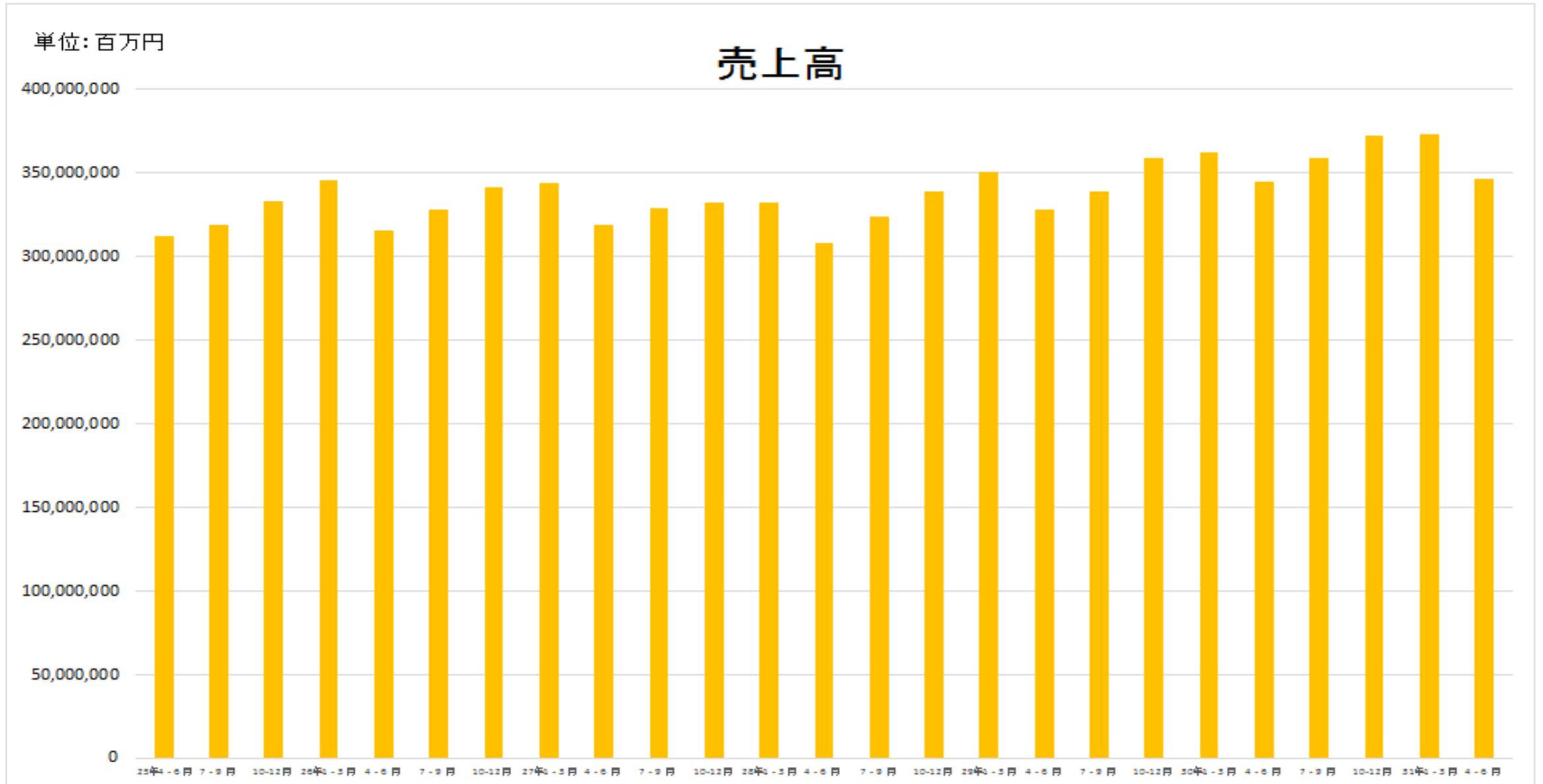


(注) 金融業、保険業を除く全規模・全産業

○ 議論いただきたい事項

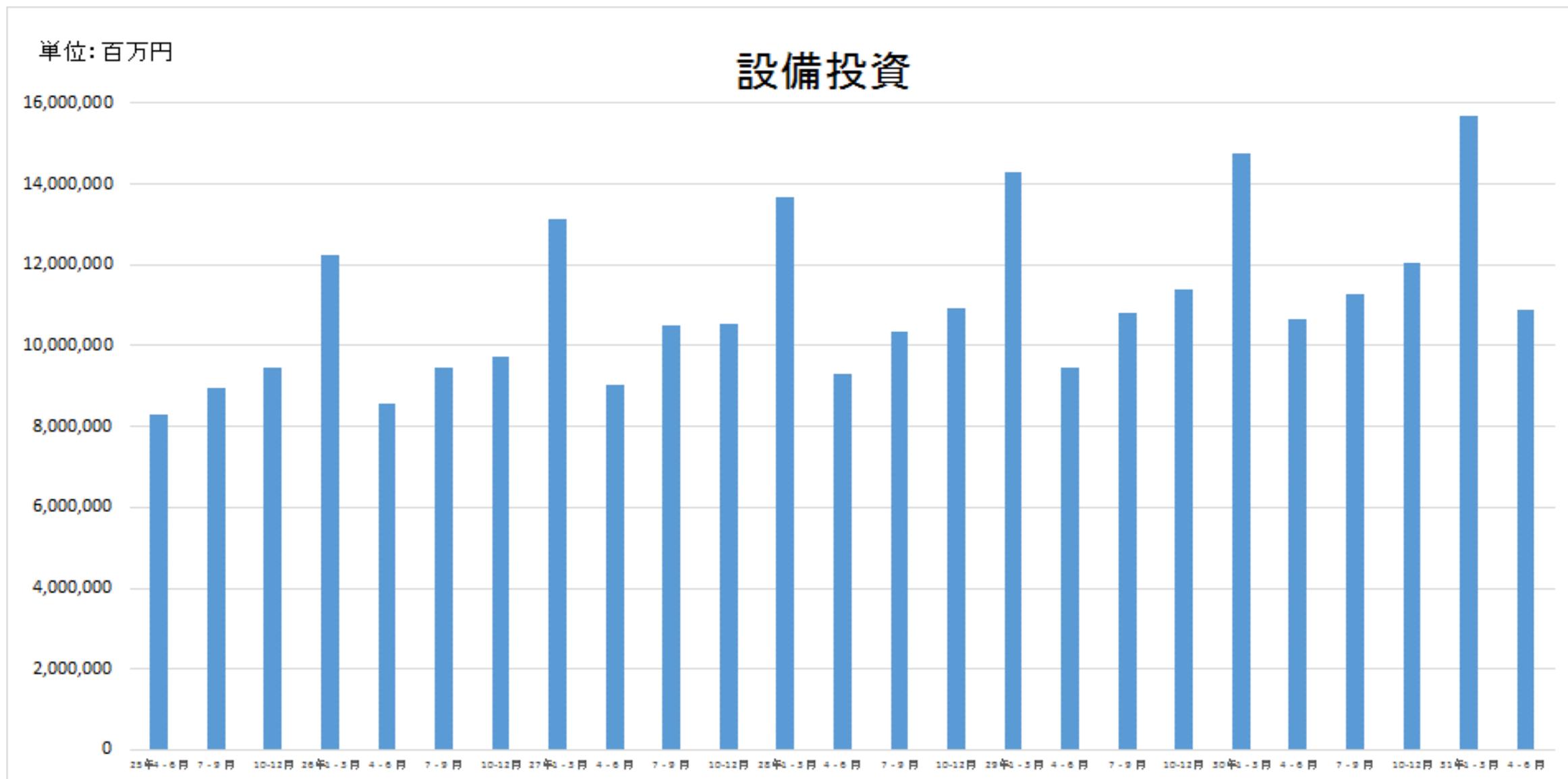
1. 欠測値補完において、利用する過去データについては、前々年同期のデータまで利用することは適当か。
2. 前期、前々期、前々々期の値については、設備投資等の季節性を考慮した場合、利用することは適当か。

売上高における原系列の推移



注. 金融業、保険業を除く全規模・全産業の数値

設備投資における原系列の推移



注. 金融業、保険業を除く全規模・全産業の数値